

### 豊橋市社協 近藤常務理事退任インタビュー

豊橋市社会福祉協議会常務理事の近藤洋二氏が3月末で退職した。市福祉部長を2年、そして豊橋市社会福祉協議会常務理事として6年。福祉の現場を歩いてきた近藤常務理事に聞いた。

(地方政治クリエイト・伊藤秀昭)

長い間、お疲れさまでした。

そうですね、1998年に福祉部に福祉企画課という課ができ、そこで「豊橋版ゴールドプラン」や「豊橋エンゼルプラン」、それに当時3000人の独り暮らし老人を3000人のボランティアで見守る「サンサン運動」も始めました。

ホームヘルパーを「家庭滞在員」と呼んでいた頃です。今の時代の高齢化、少子化問題に先駆けする大事な仕事をやらせていただきました。福祉と真正面から取り組んだ4年間は、私の原点です。

市民から見ると、豊橋市社会福祉協議会というのがよくわからないのですが。

戦後間もない1951年に、民間の社会福祉活動を強化しようとして、全国で結成されました。地域福祉を進めていく上の中核となる組織と位置づけられています。

1990年の間に福祉も大きく変わりました。

役所が決めて、サービスが必要な人を「措置」していくという時代から、サービスが必要な人と「契約」して、手を差し伸べていくという大きな転換がなされています。

住民が持つ「生活者」の感覚が中心になってきたのは、時代の当然の流れでしょうね。

介護保険もできました。

「契約」の最たるものが介護保険でしょうね。それまで「福祉」施設の

## 福祉に光を送り続けた紫蝶

### 現場を歩き続け 課題取り組み続け



豊橋市社会福祉協議会常務理事を退職した近藤洋二氏

人所需を支える」という固定概念がありました。可能な限り自宅を留めて地域で、社会全体で介護者を支えていくという、画期的な制度でした。制度ができてもう16年になりました。

一 軽度者の介護が介護保険から外れて自治体の地域支援事業に移りますが、高齢化で介護にかかる費用が膨らみ続けてきましたので「要支援2、1」の人向けの訪問介護とデイサービスが来年度4月までに介護保険の対象から外れて自治体の地域支援事業に移ります。

しかし、訪問介護とデイサービスは自治体の実施義務がありますから、影響は少ないでしょう。ただ自治体の財政事情や担い手の確保状況によっては、サービス内容や利用料に大きな差が出てくる可能性があります。

福祉は人。福祉を担う人材の育成について。そうですね。福祉に携わる人たちは、サービスを必要とする「人間」に関わるわけですから、最も専門性が要求される大切な仕事です。これからは地域でどれだけサポ

ーターを用意できるかどうかにかかってきます。また携わる皆さんをもっともっと、多くの人に知っていただき、また顕彰していく必要もありですね。

介護士や保育士の問題について介護を必要とする人が増えてきています。特に団塊の世代が間もなく70歳を超えることから、要介護状態の高齢者が増えてきます。そのことにより職場を辞めて、家族を介護する人も増えてきています。

また待機児童問題が大きな社会問題になっていますが、保育士のなり手が少ないという現実もあります。ともにネックになっているのは待遇の悪さ。待遇を良くするためには保育料値上げや、介護サービス負担増につながるかねない。補助金についても、国も地方も財政再建の真っ最中で、多くは期待できない。

非常に難しい問題ですが、知恵を出して処遇改善に取り組んでほしいですね。

東三河広域連合でいよいよ介護保険の統合が具体化しますが、

地域福祉といわれるように、東三河の各地でも地域性に合った介護保険が行われてきたわけで、このように「東三河介護保険計画」を作っていくか、特に介護サービスと介護保険料は裏表ですから、どのようにまとめていけるか注目したいですね。

認知症の問題、老人虐待の問題、後見人の問題と課題は次から次へと。

そうですね。未曽有の高齢化社会は、それに関連して様々な課題が噴出してきています。これ「1」をいっても市民の生命と財産にかかわる問題です。それだけに、今ほどこれらを食めた地域包括ケアが要請されているとまではありません。

最後に今年の秋は市長選です。

長年豊橋落語天狗連のメンバーとして、落語に取り組んでこられた「成田紫蝶(なりたやじちゅう)」に就いて、市長になる最後のチャンスかと思えますが……。

愛大の落研時代から落語に関わり、「成田紫蝶(なりたやじちゅう)」の芸名をつけて40年、それだけに愛憎があります。成田家(なりたや)ですーと行きたいので、市長にはなりません(笑)。

23年前に福祉企画課で共に働いたというシテイプロモーション課長の豊田達也氏は「とにかくあの柔軟な発想には驚きました」と述懐する。

落語で究めた豊かな感性が、福祉という重い現場に光を送り続けてきた近藤氏。成田家を出て市長になられたら、どんな市政を展開されるのだろうか。考えるだけでも楽しくなる。お疲れさまでした。